

理事長・学校長 殿

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
理事長 福田 益和

公
印
省
略

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
平成26年度 中堅教員研修カリキュラム実証講習会Ⅲ
「学級経営・学生対応～学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング～」
開催のご案内

清秋の候、校務ますますご繁忙のことと拝察申し上げます。

さて、一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団では、専修学校制度発足以来、独自のカリキュラムに基づき「新任教員研修」を実施し、専修学校における新任教員の資質向上に努めております。

一昨年度より、文部科学省の教育研修活動費補助事業の一環として、「**中堅教員研修カリキュラム**」の**研究・開発**を進めております。これは、新任教員研修カリキュラム修了程度の能力を有する方等を対象に、専修学校教育において、後進の指導等を含め、専修学校教育の振興に尽力することが期待される中核的・専門的な役割を担う中堅教員の育成を目的としたものです(カリキュラムの考え方及び構成に関しましては、4・5頁をご参照ください)。

この度、これまでの教科担当、クラス指導の経験を振り返り、自分の強みと弱みを再確認し、今後学校の中核として業務を遂行できる人材になることを目標とする「学級経営・学生対応」につきまして、実証講習会として開催し、プログラムの有用性等について、ご参加の皆様にご意見を賜りたいと考えております。

来る11月25日(火)～26日(水)の2日間にわたり、計8時間の研修プログラムとして「**学級経営・学生対応**」を開催いたしますので、詳細は実施要項をご参照いただき、是非、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

参加を希望される方は、同封の受講申込書に必要事項をご記入の上、10月31日(金)までに下記へファクシミリにてお申込みください。

[お問い合わせ・お申し込み先]
一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団<略称：TCE財団>
(Association for Technical and Career Education)
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館
TEL：03(3230)4814 FAX：03(3230)2688

平成26年度「中堅教員カリキュラム実証講習会Ⅲ」実施要項

【主催】 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）

【科目名】 「学級経営・学生対応～学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング～」

【内容・目的】

実証講習会Ⅲ「学級経営・学生対応～学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング～」

これまでの教科担当、クラス指導の経験を振り返り、自分の強みと弱みを再確認し、今後学校の中核として業務を遂行できる人材になることを目標とする。

そのために学生に対する「全体指導」「個別指導」の手法を棚卸しして、学生への効果的な動機付けの手法や、所属する学科の運営方法を学ぶ。

小学校・中学校・高等学校の各学校現場で、クラス運営を効果的に行うための手法の一つとして「Q-Uアセスメント」というものが活用されている。Q-U（学級集団をアセスメントし、より適切な支援をするための補助ツール）は、教員が「①生徒個々の実態」「②学級集団の状態」「③個人と学級集団との関係」を十分に把握し、実態に応じた教育活動が展開できるように、その一助となることを目指したものである。近年、このQ-Uの専門学校版が開発され、実際に専門学校の現場でクラス運営の改善等に活用され、学生の「対人関係形成能力」や「社会形成能力」を育成する上で教育効果を上げている事例もある。本研修科目では、Q-Uの意義や理論、そして実践方法を学び、学生に対する教員個々の指導力を向上させるとともに、校内での教員間の連携を強化し、より効果的な学級・学科運営が行えるようになることをねらいとする。

【日時】 平成26年11月25日（火）13:00～18:00（5時間）

26日（水）9:00～12:00（3時間）

【会場】 日本電子専門学校 9号館ミニホール

（東京都新宿区百人町1-25-4）（<http://www.jec.ac.jp/>）

【対象】 専修学校の中堅教員（目安：勤続5年程度以上）

【定員】 24名（定員になり次第、締切とさせていただきます。満席時には、当財団ホームページ上でお知らせいたします。）

【申込方法】 別紙の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。

→FAX: 03 (3230) 2688

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）事務局 総務課宛

【申込期日】 平成26年10月31日（金）

【受講料】 TCE財団の都道府県支部の会員校 1名 9,000円

上記以外 1名 18,000円

※交流会（ご参加は任意となります。） 1名 2,000円

○交通費・宿泊費は含みませんので、各自ご手配ください。

○お申込みと同時に右記口座にお振込みください。研修会当日の現金の受け渡しはご容赦ください。受講料の返金は致しかねます。ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願いします。

みずほ銀行 九段支店 (普通) 2386904
 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
 (振込手数料は貴校にてご負担ください)

【修了基準】 所定の全ての研修時間・課題を受講された方につきましては、本財団より「修了証」を発行いたします。本財団では、中堅教員研修カリキュラムの研究・開発完了後、平成27年度より、「中堅教員研修」としての全科目の正式実施、修了認定を予定しています。今回は実証講習会として実施いたしますが、中堅教員認定の対象となる研修時間に含めさせていただきます。

【タイムテーブル】

① カリキュラム実証講習会Ⅲ「学級経営・学生対応」

- ◆講師：東京成徳大学 非常勤講師 加勇田 修士 氏
 都留文科大学 特任教授 品田 笑子 氏
 TCE財団中堅教員研修カリキュラム研究委員会
 委員長 岡村 慎一 (専門学校YICグループ 理事 統括本部長)
- ◆日時：平成26年11月25日(火) 13:00~18:00
 26日(水) 9:00~12:00
- ◆会場：日本電子専門学校 9号館3階ミニホール

予定時間	予定内容
(初日) 12:45 13:00	受付 開会 ○オリエンテーション ○「体系的な手法を活かした学級経営」 ○「学級経営に活かすソーシャルスキルトレーニング」
18:00 (2日目) 9:00	初日終了 2日目再開 ○「学級経営に活かすSGE」(SGE:構成的グループエンカウンター) ○「学級経営と個別面接(カウンセリング)」
12:00	閉会

※事情により予定内容が変更となる場合があります。

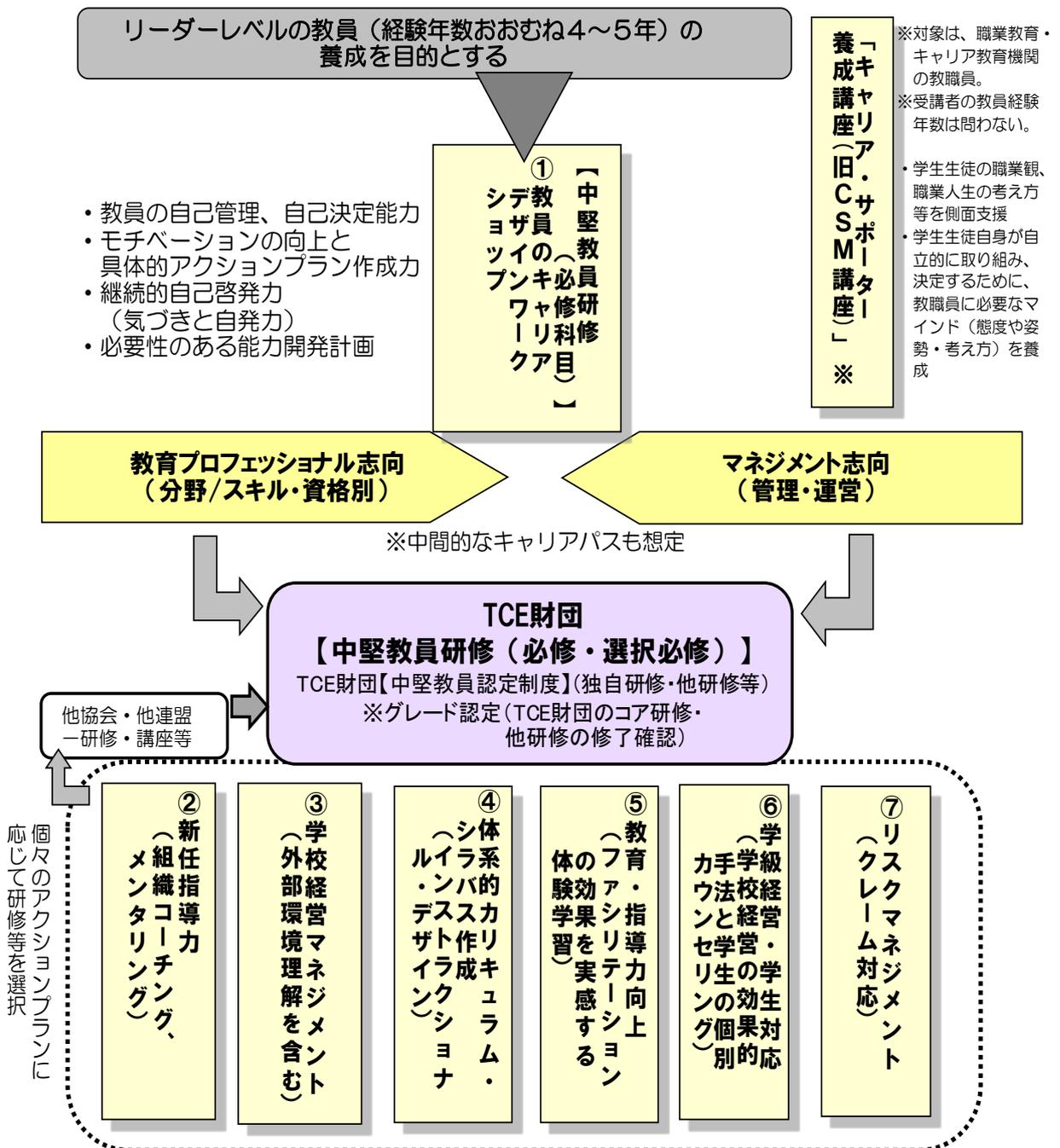
※2日間全ての研修内容の受講をお願いいたします。

※研修会初日終了後に、交流会を開催いたします(参加は任意となります)。簡単な飲み物・食べ物をご用意いたします。交流会費は2,000円となりますので、受講料と共に振込ください。

※講習会の記録として計2日間にわたり研修風景のビデオ撮影を行います。撮影した映像を報告資料等として使用する場合は個人が特定されないように編集させていただきますので、ご了承の程お願いいたします。

1. 考え方と構成

- (1) 中堅教員研修は、「①教員のキャリアデザインワークショップ（必修科目）」をベースとして、キャリアビジョン及び自ら作成するアクションプランに基づくコアとなる研修科目②～⑦（必修＝②・選択必修＝③～⑦）を用意。
- (2) 将来、（1）以外の他の団体・組織主催の研修を含め、各教員のキャリア・就業年数等に応じた研修の受講（継続的能力開発）を奨励し、修了した研修をもって中堅教員のグレードの認定を実施。



2. 科目一覧 (案)

	科目名	時間	・＜キャリアパス＞ ・研修の概要と目標
①	教員のキャリアデザインワークショップ	24	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向＞ 専修学校教員として、教科指導やクラス運営等を経験する中で、更に教育指導力を高め、学科として行う職業教育全般の企画運営や学校運営全体のマネジメントを行う方向に進むか、或いは教育専門職としての進路を目指すか等の教員自らのキャリアパスについて、自立的な将来設計を行い、計画に基づくアクションプランニングを行う。また、本科目修了後に受講する他の中堅教員研修科目をどう選択していくかを行動目標に盛り込むようにする。
②	新任指導力（組織コーチング、メンタリング）	8	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向＞ 新任指導能力「新任教職員の指導・育成力を高める」ことを目標とする。中堅教員（管理職）にとっての役割とは何かを知り、新任（部下）の指導育成のための目標管理や新任（部下）の能力・メンバーシップを引き出すための適切な指導助言ができるようになることを目指す。 具体的には、新任指導育成のための目標管理能力/新任の能力を引き出すための組織コーチング力、メンタリング力をつけることを目指す。
③	学校経営マネジメント（外部環境理解を含む）	12	＜キャリアパス：マネジメント志向＞ この研修は、学校経営の概観を把握することで、中堅教員として学校経営に対する意識を持ち、所属する学校経営と自らに課される仕事の理解を深めることをねらいとする。 我が国の経済の影響を受けて、実学志向・資格志向・専門職業人育成への社会的要請は高く、専門学校に強い風であるが、学校種間・学校間競争は依然厳しく、また18歳人口が減少に入る2018年度が迫る中で、中堅教員が学校経営を理解し能力を高めることは非常に重要である。 研修では、学校経営における法律や財務をはじめとする様々な知識や手法等の必要性に受講者自らが気づききっかけとする。受講者同士で課題に取り組みながら、学校経営に関わっていくための経験と能力について演習を通じて理解し、各自のマネジメントスキルの課題を認識することで、自校の中長期的計画策定、将来構想について俯瞰した視点を持つことを目標としたい。
④	体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）	12	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向＞ より学生に分かりやすく効率的に学べるカリキュラム・シラバスを作成する手法としてインストラクショナル・デザイン（ID）がある。このIDとは何かを学び、これを用いてカリキュラム・シラバスを設計・開発できるようになるのが本科目の目標である。
⑤	教育・指導力向上（ファシリテーションの効果を実感する体験学習）	12	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向＞ ファシリテーションは、「容易にする」「円滑にする」「スムーズに運ばせる」という原意が示すとおり、問題解決や合意形成を促進する技術としてアメリカから紹介された。主に体験学習やワークショップなどのグループ活動に適用する手法であり、話し合いを促進する、メンバーの相乗効果を発揮する、自律性を育むなどの効果が期待できる。その応用範囲は多岐にわたるが、教育現場の適用事例も数多く報告されている。 体験から学ぶ方法としての「ラボラトリー方式の体験学習」について理解を深め、教育活動におけるプロセスを大切に学生との関わり方や観察力の必要性を感じる上で、教員自らが、ファシリテーションを体験する。そして、その体験で得た効果の実感することを通じて、自らがファシリテーターとなるためにどのようなマインドで基礎的な知識とスキルを必要とするか、まずは確認することで、今後の教育・指導力向上に向けた学習のきっかけとしていただきたい。
⑥	学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）	8	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向＞ これまでの教科担当、クラス指導の経験を振り返り、自分の強みと弱みを再確認し、今後学校の中核として業務を遂行できる人材になることを目標とする。 そのために学生に対する「全体指導」「個別指導」の手法を棚卸しして、学生への効果的な動機付けの手法や、所属する学科の運営方法を学ぶ。 具体的には、小学校・中学校・高等学校の各学校現場で、クラス運営を効果的に行うための手法の一つとして「Q-Uアセスメント」というものが活用されている。Q-Uは、教員が「①生徒個々の実態」「②学級集団の状態」「③個人と学級集団との関係」を十分に把握し、実態に応じた教育活動が展開できるように、その一助となることを目指したものである。 近年、このQ-Uの専門学校版が開発され、実際に専門学校の現場でクラス運営の改善等に活用され、学生の「対人関係形成能力」や「社会形成能力」を育成する上で教育効果を上げている事例もある。本研修科目では、Q-Uの意義や理論、そして実践方法を学び、学生に対する教員個々の指導力を向上させるとともに、校内での教員間の連携を強化し、より効果的なクラス・学科運営が行えるようになることをねらいとする。
⑦	リスクマネジメント（クレーム対応）	6	＜キャリアパス：マネジメント志向＞ 中堅教員として、リスクマネジメントに関わることは、学校経営の根本的な問題のみならず、日々の運営の中で諸問題に適切に対応し、解決を図る上で強く要請されている。また、クレーム対応には、原理・原則があり、それを踏まえて行動すれば難しいものではない（その中でも最も重要なのは「顧客（学生・ステークホルダー）の心情を理解してふるまう」ことである）。 本科目の受講者は、クレームの基本概念を理解し、過去の代表的な事例からクレーム対応の手順や留意点を知る事で、専修学校におけるクレームの諸問題に対応力を高め、中堅教員としてふさわしい問題解決能力を身に付けられることを目標とする。 また、組織によるクレーム対応についても学ぶことにより、自組織のCS（顧客満足度）改善計画や企画策定など、リスクマネジメントについての理解を深めることも目標とする。
	計	82	

*** コピーしてご利用ください。FAXの送付状は不要です。本紙のみお送りください。***

平成 年 月 日

平成 26 年度 中堅教員カリキュラム実証講習会Ⅲ 受講申込書

<申込期限：10月31日(金)>

都道府県名 _____

学 校 名 _____

ふりがな

受講申込者 氏 名 _____ /性別： _____

年齢： _____ 歳 / 生年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

部署・役職名等： _____

専修学校教員勤続年数： _____ 年 _____ 月

※勤続年数は「常勤・非常勤」又は「専任・兼任」の期間の通算をご記入下さい。

企業・施設等での実務経験年数： _____ 年 _____ 月

※実務経験年数は教員採用後の短期的な実務研修期間も合算してご記入下さい。

e-mail _____ @ _____

学校電話番号 _____ — _____

受 講 料 該当されるものについて、にチェックをお付けください。

受講科目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外	交流会(ご参加は任意です。)
学級経営・学生対応	<input type="checkbox"/> 1名 9,000円	<input type="checkbox"/> 1名 18,000円	<input type="checkbox"/> 1名 2,000円

※受講料はお申込みの学校名にてお振込ください。

法人名にてお振込の場合は、下記に法人名をご記入ください。

(学校法人名： _____)

振込予定日 平成26年 _____ 月 _____ 日

ご利用銀行 _____ 銀行 _____ 本・支店より

(振込手数料は貴校にてご負担ください。)

※ご提供いただいた個人情報は、研修会開催前後の事務連絡、研修時のグループ分けの為に利用させていただきます。

※講師・受講者・事務局・オブザーバーに配布する「受講者名簿」に都道府県名・氏名・学校名のみ掲載させていただきますので、ご了承ください。

【お申込先】(送付状は不要です。本紙のみお送りください。)

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 事務局 総務課

FAX : 03 (3230) 2688

別表一覧 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）の支部

	都道府県名	名 称	電話番号
1	北海道	公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会	011. 242. 1955
2	青森	青森県専修学校各種学校連合会	017. 728. 0145
3	岩手	一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会	019. 624. 8600
4	宮城	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会	022. 211. 7157
5	秋田	秋田県専修学校各種学校協会	018. 832. 5437
6	山形	一般社団法人山形県専修学校各種学校協会	023. 641. 2323
7	福島	一般社団法人福島県専修学校各種学校連合会	024. 521. 1425
8	茨城	一般社団法人茨城県専修学校各種学校連合会	029. 221. 8771
9	栃木	一般社団法人栃木県専修学校各種学校連合会	028. 643. 6920
10	群馬	一般社団法人群馬県専修学校各種学校連合会	027. 255. 6861
11	埼玉	一般社団法人埼玉県専修学校各種学校協会	048. 865. 2195
12	千葉	一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会	043. 243. 3147
13	東京	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会	03. 3378. 9601
14	神奈川	一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会	045. 312. 2221
15	新潟	一般社団法人新潟県専修学校各種学校協会	025. 222. 8798
16	富山	一般社団法人富山県専修学校各種学校連合会	076. 442. 1858
17	石川	一般社団法人石川県専修学校各種学校連合会	076. 264. 3991
18	福井	一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	0776. 91. 1601
19	山梨	一般社団法人山梨県専修学校各種学校協会	055. 235. 8861
20	長野	一般社団法人長野県専修学校各種学校連合会	026. 235. 3353
21	岐阜	岐阜県専修学校各種学校連合会	058. 271. 5076
22	静岡	公益社団法人静岡県職業教育振興会	054. 251. 2335
23	愛知	一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会	052. 957. 1392
24	三重	三重県専修学校協会	059. 229. 4070
25	滋賀	滋賀県専修学校各種学校連合会	077. 525. 4572
26	京都	一般社団法人京都府専修学校各種学校協会	075. 344. 2330
27	大阪	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会	06. 6352. 0048
28	兵庫	公益社団法人兵庫県専修学校各種学校連合会	078. 391. 7010
29	奈良	奈良県私学専修学校連合会	0745. 23. 0099
30	和歌山	一般社団法人和歌山県専修学校各種学校協会	073. 423. 9770
31	鳥取	一般社団法人鳥取県私立学校協会専修学校各種学校部会	0857. 29. 4266
32	島根	一般社団法人島根県専修・各種学校連盟	0852. 23. 5548
33	岡山	一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会	086. 226. 7198
34	広島	公益社団法人広島県専修学校各種学校連盟	082. 227. 8210
35	山口	一般社団法人山口県専修学校各種学校協会	083. 924. 0239
36	徳島	一般社団法人徳島県専修学校各種学校連合会	088. 653. 3155
37	香川	一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会	0877. 41. 2380
38	愛媛	一般社団法人愛媛県専修学校各種学校連合会	089. 935. 4510
39	高知	一般社団法人高知県専修学校各種学校連合会	088. 850. 0200
40	福岡	一般社団法人福岡県専修学校各種学校協会	092. 292. 6104
41	佐賀	佐賀県専修学校各種学校連合会	0952. 26. 8311
42	長崎	一般社団法人長崎県専修学校各種学校連合会	095. 844. 1378
43	熊本	一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会	096. 372. 6444
44	大分	一般社団法人大分県専修学校各種学校連合会	097. 544. 4666
45	宮崎	一般社団法人宮崎県専修学校各種学校連合会	0985. 29. 5288
46	鹿児島	一般社団法人鹿児島県専修学校各種学校協会	099. 254. 0639
47	沖縄	一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会	098. 858. 7070